

# 津久戸

9月号

 令和2年9月1日  
 新宿区立津久戸小学校

## 〈オリンピック・パラリンピック教育〉

### 体育的行事

本来ならばこの夏は、東京の様々な場所でオリンピック・パラリンピックの競技が行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、1年間延期となりました。ご家庭で観戦に出かける予定を立てていた方も多くいらしたのではないのでしょうか。テレビでも延期について多くのアスリートがインタビューされている様子が放送されました。延期が決まった2週間後、競泳の瀬戸大也選手は自身のツイッターで次のように述べています。

「東京五輪の延期が決まり、2週間が過ぎました。一中略一 延期が決まった時は喪失感で抜け殻になりました。自分はすぐ気持ちを切り替えて、来年頑張ります、なんて言えなかったし、今でもまだ完全に切り替えられてない日々が続いています。(新型) コロナ(ウイルス感染拡大)の関係もあり、練習も全くしていない状況です。」

4年に1度のオリンピックのために、費やしてきた時間、お世話になった方々、現在と1年後の自分のコンディションなど、様々な思いが巡っての発言だったのだと思います。瀬戸選手に限らず、多くの選手が同じような気持ちになっていることでしょうか。もちろん、前向きに1年後を見据えて再始動した選手もいると思います。我々教員も、こうしたコロナ禍での選手や関係者の様々な思いを想像し、より子どもたちが前向きな気持ちでオリンピック・パラリンピックを迎えることができるよう、指導にあたっていきたいと思えます。

東京都のオリンピック・パラリンピック教育は、「観る」「する(体験・交流)」「支える」の活動を通して、「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の5つの資質を育むとともに、共生・共助社会の実現を目指しています。

まだまだ学校での活動には制限が多い状況ですが、本校でも引き続き、新宿ギネスへの挑戦や各種スポーツ・パラスポーツの出前授業等を通して、可能な限り子ども達のオリンピック・パラリンピックへの関心を高めていきたいと思えます。

### 特別の夏を終えて

#### 校長 牧田 健一

例年よりもかなり短い夏休みが終わり、2学期が始まりました。災害級の猛暑と新型コロナウイルスの感染に気を付けながらの夏休みになってしまいましたが、元気に登校してくる児童を見て少し安心しました。2学期は、臨時休校の授業時数を確保するために月に2回土曜授業を実施します。また、今年度から通知表2期制を導入したことで、前期の「あゆみ」を10月にお渡しすることになります。今学期も新型コロナウイルスの感染防止に対策を取りながら教育活動の充実に取り組みたいと考えています。保護者の皆様には、引き続き登校前の検温、健康観察カードの記入等ご協力をお願いいたします。

さて先週、学校から文部科学大臣からのメッセージを配布させていただきました。児童の自殺や大きな災害、いじめが大きな課題となったときに出されることがあります。前回、メッセージが出されたのは、平成29年のことだったと記憶しています。その内容は、東日本大震災により被災し、原子力発電所事故により避難している児童生徒に対する差別・偏見によるいじめが発生したことが理由でした。内容は、避難している方への誤解、放射線に関する理解不足、大人の配慮に欠ける言動が考えられるといったものでした。「故郷を離れて懸命に生活している方の思いを理解し思いやることが大事なことである」と示されました。

今回のコロナウイルスに関しても、原子力発電所の事故と全てが同じではありませんが、検査で陽性反応が出た方、症状が重くつらい思いをしている方への思いやりが大事であることや、誤解や理解不足、配慮に欠ける言動は慎み、差別や偏見をもたないように気を付けなければならないことに関しては同じです。

COVID-19は、未知のウイルスであり分からないことが多々あります。分からないものに対して恐怖を感じることも人として当然です。ただし、それと差別・偏見は全く別のものです。この状況だからこそ、人と人とのつながりを大切にして、思いやりと優しさにあふれた津久戸小学校、津久戸の町でありたいと強く思い、今後も教育活動を進めていきたいと思っています。

### 9月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・ 時間を守って行動しよう。
- ・ 整列をはやくしよう。
- ・ 廊下は右側を静かに歩こう。



長い梅雨が明けたとたんやってきた猛暑。夏休み中も感染症対策をしながらの熱中症対策は大変だったと思います。9月もまだまだ暑い日が続くそうです。暑さの中でも学校のきまりをしっかりと守れる津久戸の子であってほしいと思います。

(生活指導部)

## 【学年の窓から・・・1年生】

### 1組担任

入学式の日に会い、その後、休校となり、しばらく電話でのやりとりが続きました。それでも、電話の向こうで元気な声が聞こえると安心していました。

学校が始まってからは分散登校となり、学級の壁を越え、少人数でゆっくり関わることができました。振り返ると、スタートカリキュラムの目的の一つである「学校生活に慣れる」という点では丁寧に行えたように思います。

一斉登校になると、やはり、自分のクラスという自覚もあってか、より嬉しそうに登校していました。その所属感も、学校生活の良さです。

先日、子ども達と一緒に決めた学級目標は、「やさしく協力し、仲良く頑張るクラス」です。意見を出し合うこと、ペアでよりよい考えを生み出すことを積み重ねながら、自分たちの学級、学年、学校生活を創る楽しさを味わってほしいです。優しく、面白いと楽しめる子が多い1年1組。これから、どう成長していくのかが楽しみです。

### 2組担任

今まで当たり前だったことが当たり前でできない状況での一年生との出会いとなりましたが、新しい環境で頑張っている子ども達。すっかり学校にも慣れ、友だちとの輪が広がり始めています。

授業で、自分の考えたことや気付いたこと、友だちのよいところを伝え合うなど、友だちと関わり合う活動をしていると、学校で友だちと学ぶことのよさを改めて感じます。

学級では、学級での生活をよりよいものにするために、必要だと思う係をみんなで話し合っ決めて決めた。

「みんなを助ける」

「楽しいクラスにする」

「みんなが過ごしやすくする」

そのためにできることを考え、友だちと協力しながら実行し始めたところです。これから子どもたちと一緒に1年2組を作り上げていきたいと思います。